

教室1 学校活用プロジェクト「教室活用プランづくり&DIY」 第3回レポート

第3回「教室活用プランづくり&DIY」は、前回の椅子づくりの続きです。さて、自分の椅子はどこだったかな…。受講生が教室内を見渡すと、後ろの方に何やら気になる椅子が…。

これは、講師の足利さんが前日、こっそりと製作した「神輿椅子」です。持ち手のついた椅子の上には、ストロボの光で後光を発生させる鍋、下には揺れるとガランガランと音がする鍋。

「今日は、みんなでこれを担いで『みなや』に行きます！」と、笑顔で話す足利さん。そして、（だれが乗るの!?)と少しハラハラの受講生。



教室の前半は、受講生それぞれが椅子の完成をめざします。講師の吉富さんから、「今作っているのは会話の弾む1つの椅子だけど、そんな椅子がたくさんある教室、そんな教室があるみませ楽舎、そんなみませ楽舎がある長浜・御豊瀬・浦戸とな



るわけで、地域の活性化とこの椅子は繋がっているということ意識しつつ楽しみましょう」とお話がありました。

どんな椅子を作っているのか受講生に聞くと、「この部品がないと座れない椅子」「荷物を置いてシーソーみたいに高さが変わる椅子」など、予想外のアイデアが飛び出しました。互いの豊かな発想力に触発され、ますます椅子づくりに力が入ったようでした。



すでに完成している受講生は、他の受講生のお手伝い。みんなで力を合わせて一つの事に取り組むと、自然と会話が弾み、結束力が高まりますね。

ふと教室内を見ると、受講生がコップやガラスの破片を机に張っていました。椅子が完成し、今度は机づくりに挑戦しているようです。

それぞれが役割分担しながら、少しずつ教室づくりが進みます。

午前 11 時。ここでいったん作業は中断して、お待ちかねの「神輿椅子」が登場です。

最初に上に乗るのは、地元から参加した受講生。あまり高く持ち上げるとちょっと怖いので、担ぎ手は腰の高さで神輿を固定します。



形は違いますが、今も残る長浜・御畳瀬・浦戸地域のお祭りで、子どもたちが神輿を担いで、それぞれの地域を巡るそうです。受講生の中には、子どもの頃に神輿を担いでいた方もいて、嬉しそうに当時の思い出を語ってくれました。

御畳瀬のコミュニティスペース『みなや』に到着後、いったん休憩し、お茶やコーヒーをいただきながら昔の御畳瀬の写真を見て懐かしんだり、周囲を散策したりと、それぞれが交流やフィールドワークを楽しみます。

よく見ると、交流の輪の中に、午後からの教室 3 に参加している受講生の姿が。早く着きすぎたので、みなやに立ち寄ったようです。



地面に置くと安定感抜群の神輿椅子。受講生は代わるがわる座り心地を確かめていましたが、これって座ってみたくなる&担ぎたくなる椅子なんでしょうね。



楽しいひとときを過ごした後、神輿椅子を担いでこうちみませ楽舎へ。今度はより高く持ち上げて、神輿感を味わいました。

「皆さん、次回はペンキを使います！」終了前、足利さんからの予告。

果たして小学校の教室がどう生まれ変わるのか。とても楽しみです。